

佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
子どもの育ちと支援 Aid for Childcare		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会的養護の発展した内容を扱いますが、社会的養護を履修していなくても履修することに問題は有りません。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
大塚 登	本館2階	火・水・木・金曜日の9時～17時		授業中に指示します
授業の概要				
国及び地方公共団体は児童の保護者とともに児童を心身ともに健やかに育成する責任を負うことが児童福祉法に述べられている。春期の社会的養護の授業により、学生は各発育段階における福祉の支援を学んだ。受胎後から大人になるまでの各年齢段階において、健やかな育ちを保障するためには福祉のみならず、医療や教育など様々な支援が必要とされる。この授業では障害を持つ子どもや養育環境が整っていない子どもたちの育ちに関するさまざまな支援について紹介する。				
授業の目標				
特別な支援を必要とする子どもに対し、 ①社会的養護の発展として福祉支援の理解を深めることができるようにする。 ②医療、教育面から、受胎後から成人期までの各段階における支援を理解できるようにする。 ③子育て支援について総合的に理解することができるようにする。				
授業の方法				
各発育段階における医療、福祉、教育、工学支援を解説する。その際、映像資料などをできるだけ使い、教育支援では学生の過去を振り返り「あれがそうだったのだ」と思い起こさせ、学生の理解を深めたい。				
学習の成果（学習成果）				
特別な支援を必要とする子どもに対し、受胎期から成人期に至るまでの支援を福祉だけに限らず、医療、教育、工学支援を含めて幅広く説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方、評価の方法）、医療支援1（染色体血液検査の課題、妊婦健診）・小テスト			
第2回目	医療支援2（新生児マスキング検査、乳幼児健診、助産施設）・小テスト			
第3回目	福祉支援1（乳児院、里親）・小テスト			
第4回目	福祉支援2（児童発達支援、障害児保育）・小テスト			
第5回目	教育支援1（特別支援学校幼稚部、就学時健康診査、就学相談）・小テスト			
第6回目	医療支援3（福祉医療制度、自立支援医療）・小テスト			

第7回目	福祉支援3（情緒障害短期治療施設、児童養護施設、ファミリーホーム）・小テスト		
第8回目	教育支援2（特別支援学校と特別支援学級、統合教育）・小テスト		
第9回目	教育支援3（障害を持つ人の中等・高等教育、就職）・小テスト		
第10回目	福祉支援4（児童養護施設の子どもの進路支援、自立援助ホーム）・小テスト		
第11回目	教育支援4（通級指導教室、適応指導教室、不登校、人権教育）・小テスト		
第12回目	教育支援5（障害を持つ人の中等・高等教育、就職）・小テスト		
第13回目	福祉支援5（障害者支援施設、地域における自立支援の取り組み、バリアフリー）・小テスト		
第14回目	工学支援（福祉機器、福祉工学）・小テスト		
第15回目	授業のまとめ（理解したこと、感想をまとめ、発表し合う）		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
	授業参加態度	6%	授業に遅刻せず出席し、私語をせず、授業に集中し、メモをとる受講態度であれば与える。
	レポート		
	調査報告書		
	小テスト	84%	小テストでは知識の定着を図る穴埋め問題と自分の言葉でまとめる論述問題を出すので、授業の内容をふまえて自分なりの考えを述べてください。6点×14回=84点
	試験		
	発表内容（態度含む）	10%	授業のまとめとして、学んだことや感想をまとめ、発表する。
	その他		
教科書と参考図書			
毎回レジュメを用意します。			
履修上の留意点・ルール			
小テストの時、電子辞書を積極的に活用してください。			